



「人権啓発講演会」と「人権移動教室」

山梨県・山梨県人権啓発活動ネットワーク協議会の主催による人権啓発講演会が9月5日（金）富士川町民会館、9月9日（火）大月市立図書館において開催された。この講演会は、県民一人ひとりが人権の意義について理解を深め、人権尊重意識の高揚を図ることが不可欠であるという趣旨により、人権問題に対する正しい理解と認識を深めるために県内3箇所で開催している。

富士川町民会館では、小諸市立郷土博物館長・信州農村開発史研究所長の斎藤洋一氏による「歴史から学ぶ 差別のない社会」という演題で、ある人の玄関に「〇〇に住む土地は村には一坪もないから早く出て行け」と書かれた紙が貼られるという事件が過去にあった。この事件をもとに信州の歴史や現在の人権状況についての事例を交えながら、生活の中の差別について理解を深め、お互いの人権を大切にする社会について考えてみる。という内容で、なぜ今日、小中学校で使われている教科書が無償となったのか、就労にみる部落差別とその闘いなど過去の歴史をもとに、これまでの人権差別について解説を交えながらの講演だった。

また、大月市立図書館では、落語家の桂 三風さんによる「やさしさの時代を築こう」という演題で、「豊かな国、日本。果たしてそうでしょうか？ 確かに物質的には豊かですが、心は貧しい国になりつつあります。「やさしさ」とは…？」この機会に落語を通じて一緒に考えてみませんか。」と、客席参加型落語で、三風さんと客席が一体となって、落語の中の人物になったような気にさせてくれ、参加すればするほど楽しく、また人権について大変分かりやすい講演内容だった。

今後は、12月17日（水）県立図書館多目的ホールで開催される予定なので、この機会にぜひ参加していただき、もう一度、人権について考えていただきたい。



人権移動教室も前半が終わり、これまで甲府市では玉諸小学校・大里小学校・北新小学校、甲斐市では竜王南小学校で教室が開催された。教室ではいつも感じることだが、杉藤会長の話を子ども達は、いつもあついまなざしで聞いていてくれる。

教室で杉藤会長は、「他人の人権にも十分配慮した行動をとることができるよう、相手の気持ちを考えることや、思いやることが大切である。将来、日本を支えていく皆さん、日々、人を大切にする心をもって、勇気をもって、他人に優しく接してください。」という内容の講演を自分の実体験を交えながら子ども達に話をした。その話を聞いている子供たちは真剣そのもので、杉藤会長の一言ひと言に多くの反応があった。

最後に移動教室に参加した、小学6年生男子の感想文を紹介します。

『人権について「人権」という言葉は、何度も聞いたり、見たりしていたけれど、なんなく人と持つ権利だと軽く思っていました。けれど、今日、人権の話を聞いて人権についてわかりました。人権とは命と幸せを守ることでした。今日の勉強で思ったことは、自分のことばかり考えず、相手のことも考え、やさしい気持ちを持てばよいということです。けれども、今の自分にそれができているかというと、そうではありません。今のぼくにはまだ自分のことばかり考え、人のことは少ししか考えられません。なので、今後、少しづつでも相手のことを考え、「やさしい」という気持ちを形で表したいと思いました。

今日、勉強したことは、大人になって人生を左右するほど必要なことだと、ぼくは思いました。つまり、ぼくの将来は、今後の過ごしかたによって変わるということに気付きました。なので、今日勉強したことをしっかりと守り、立派な大人になりたいと思いました。』

国連NGO横浜国際人権センター・山梨ブランチ

代表 横山 隆史（全日本同和会山梨県連合会会長）

〒400-0831 甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階 Tel 055-243-8563